

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[三重大学教育学部附属中学校] 担当教諭名[中垣 尚子] (国際福祉活動部 24名 美術部 14名)

相手国・地域[サウジアラビア]

海外学校名[Al Hussan International School] 担当教諭名[Saira Muhammad]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	国際福祉活動部	アートマイルプロジェクト、国際交流	約10
	美術部	アートマイルプロジェクト、絵で世界にメッセージを発信しよう	約30

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	よりよい未来のために環境問題について考えよう (プラスチックごみの削減を目指して)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	<p>同じステップを踏みながら、お互いに調べたことをテレビ会議で共有した。</p> <p>①生活の中で使用されているプラスチックにはどんなものがあるか？</p> <p>②このままプラスチックを使い続けることで起こる問題は何か？</p> <p>③使い捨てプラスチック削減に向け、どんな動きがある？</p> <p>(1)日本の動きにはどんなものがある？</p> <p>(2)世界の動きにはどんなものがある？</p> <p>④プラスチック削減に向けて自分たちができることは何？</p> <p>⑤世界の人々と共にプラスチック削減に向けて取り組もう！アートマイルプロジェクトでメッセージを世界に発信！！</p>



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>伝える相手がいることで一生懸命英語を考え、伝えようとしている姿があった。また美術部は壁画作成を中心に原画作成で何度もミーティングを行い、意見を交わっていた。サウジアラビアの国についても興味をもったり、身近に感じられるようになった。テレビ会議では宗教の関係上、男子生徒は参加できなかった。相手校とのやり取りの中でスクリーンに男子の姿が映らなければ、声だけで参加することは可能となった。男子生徒たちは少し残念な部分もあったようだった。</p>	<p>活動部会や部活動で行ったため、放課後しか活動できず、時間の制約が多かった。短時間で進めなければいけないため、宿題にすることが多かったり、教員が準備することが多かったため、生徒が『主体的に』動ける場面が少なくなってしまった。実際にテレビ会議を通して、サウジアラビアの生徒の交流ができたのは短くても貴重であったが、ネット環境が不安定でなかなか予定していた時間通りにはいかず、更に短い交流時間となってしまった。</p>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
サウジアラビアの事件がニュースで取り上げられていた時期にも重なって、サウジアラビアという国に対して怖い印象もあったようだったが、今回の交流を通して、明るく活発な生徒や人懐っこい生徒が多いことも分かり、親近感や好感を持ったように感じる。また、生徒の能力が高いことにも感銘を受け、自分たちも頑張ろうというようにプラスの刺激を受けていた。	イスラム文化を通して「性」を意識する機会になった。やり取りの中で融通をきかせてもらうことができるのだということも分かった。交流した学校は生徒も先生も女性ばかりだったが、とても気さくで明るかったので、交流していても楽しかった。服装もアバヤなどの民族衣装をまとっているのかと思っていたが、違っていた。テレビ会議だと実際の様子がいろんな場面から伝わって、とても良い機会になった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	英語で自己紹介や学校紹介を考え、動画や写真と共にフォーラムにアップした。また日本文化についても紹介した。	夏休みの間に英語で自己紹介を考えてきた。3年生を中心に1年生を手伝ったりしながら協力して作成することができた。サウジアラビアについて調べ、テレビ会議を楽しみに準備を進めることができていた。	活動部会
共有 テーマ学習	10月 11月	テレビ会議で自己紹介や学校や日本の文化紹介を行った。またサウジアラビアの学校や文化について紹介してもらい、交流した。テーマを決定し、それぞれ次のテレビ会議でプレゼンテーションをしようするために準備を進めた。11月末に留学生を招いてプレゼンテーションのリハーサルを行った。	初めてのテレビ会議でサウジアラビアと交流ができ、生徒はとても喜んでいて。男子生徒が参加できないことやインターネットが不安定でなかなかつながらないことなど、すべてが異文化理解になった。英語に対するモチベーションにもなった。次回に向けて、よりよい発表をしたり、相手を理解し、より交流が深まるように頑張る気持ちが高まっていたように感じた。	活動部会 部活動
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月 12月	美術部を中心にテーマやサウジアラビアについても共有し、下描きを完成させた。下描きの写真と英語の説明を作成し、フォーラムにアップし、動画も撮影した。生徒が下描きを見せながら説明し、紹介した。	文化祭の発表に向けて、調べ学習をしたり、発表用に模造紙やパワーポイントにまとめたりした。美術部員も何度もお互いの意見を交流しながら下描きを完成することができた。また下描きを説明する動画も作成した。	活動部会 部活動
創造 壁画制作	12月	美術部を中心に、絵の得意な生徒も手伝いながら色付けをし、完成させた。修行式の放課後に完成記念の集合写真を撮影し、梱包した。翌日、送付した。	美術部を中心に絵を描くのが得意な生徒が協力をしながら絵を完成させた。こんなに大きな作品を作成するのは初めてで、みんなで1つの作品を完成させるのは楽しかったし、達成感があったと言って喜んでいて。	活動部会 部活動
評価 振り返り 自己評価	2月	絵を見て、今までの活動を振り返りながら、アンケートに答える形で行った。	「全然違う国でも絵でつながれるのがすごいと思った。」「絵のタッチを鑑賞し、良さを発見することができた。」「表現の仕方、色の付け方などを知ることができた。」という感想もあり、それぞれ自分の中で次につながるものが見つけられたように感じた。	活動部会 部活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	サウジアラビアの生徒に日本を紹介するために夏休みの間に調べたり、分かりやすく伝えるために写真を集めたりして情報収集ができた。
異文化を理解する力	5	サウジアラビアのことについて調べたり、テレビ会議などを通して相手のことを理解しようという姿勢が感じられた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	パワーポイントを作成したり、サウジアラビアや日本について、そしてテーマであるプラスチックごみについて調べてきたり、内容について仲間と共有したりすることができていた。またテレビ会議のプレゼンテーションや文化祭の発表に向けて協力してまとめられていた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	サウジアラビアの生徒とテレビ会議やフォーラムを通してやりとりしたり、文化祭では全校生徒に対して発信し、展示発表でも来客の人たちに説明したりすることができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	サウジアラビアの国や文化、人々についても、テーマに関する内容に関しても「知る」という状態にとどまってしまった。深めるところまでできなければ、なかなか批判的に見るところまでいかないと思った。
主体的に考え行動する力	4	主体的にアイデアを出したり、話し合いの中で自分の意見が言えるようになっていたりする姿が見られた。新しいことに対して、やってみようというチャレンジ精神が高まったように感じる。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	縦割りのグループで行い、学年を越えて協力することができた。また学年だけでなく、活動部と美術部でも協力でき、様々なグループや人と関わりながら1つのものを完成することができ、達成感を感じた生徒も多かった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	どうということが喜ばれそうか、日本のどういふことを知りたいかなど、相手の立場に立って伝える内容や伝え方を考えることができていた。また絵を書くにあたって、国やテーマの背景や知らないことは調べたりしながら、メッセージをどう絵にするかということに取り組んでいた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	完成した絵を眺めながら、サウジアラビア側の絵に対して「これは何かな？」などの好奇心を持って見たり、疑問を持ったりして、鑑賞の後に、それらについてフォーラムで質問をした。